

令和 8 年 9 月 15 日
愛 媛 大 学

日本才能研究学会主催 第 1 回年次研究大会を開催

愛媛大学教育学部 隅田 学教授が大会実行委員長を務める日本才能研究学会では、才能教育・才能伸長に関する最新の研究成果を共有・発信する場として、このたび記念すべき第 1 回年次研究大会を下記のとおり開催します。

研究大会では、研究発表、シンポジウム、講演、ワークショップ等を通じて、本分野における学術的議論を深めるとともに、才能教育・才能伸長に関する理解の促進および学術的成果の普及を図ることを目的としています。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

日 時：令和 8 年 9 月 26 日（土） 13 時 00 分～18 時 00 分

令和 8 年 9 月 27 日（日） 8 時 30 分～12 時 30 分

場 所：26 日 松山市立子規記念博物館(松山市道後公園 1-30)

27 日 E.U. Regional Commons（松山市文京町 3 番）

対 象：才能・才能教育に関心をお持ちのすべての方

定 員：100 人程度

参 加：申し込み方法や参加費に関しては、以下の大会 HP をご覧ください。

<https://pub.confit.atlas.jp/ja/event/jsgifted2026/content/registration>

本件に関する問い合わせ先

日本才能研究学会事務局
(愛媛大学教育学部附属才能教育センター内)
隅田 学
TEL：089-927-9503
Mail：contact@js-gifted.org

※送付資料 4 枚（本紙を含む）



日本才能研究学会

Japan Society of Gifted Studies



第1回年次研究大会

The 1st Annual Conference

第2次案内

2026年 9月 26日^土 ~ 27日^日
1:00-6:00PM 8:30AM-12:30PM

26日会場 松山市立子規記念博物館
(松山市道後公園1-30)

27日会場 E.U. Regional Commons
(松山市文京町3番)

対面または
オンラインで
参加できます！

26日
13:25~

学会長 講演
「日米才能教育の
歴史的展開の先に」
松村暢隆 関西大学名誉教授



26日
14:00~

特別講演
「俳句という場を
創出した正岡子規の挫折と才能」
青木亮人 愛媛大学教育学部教授



懇親会
会場：道後一会
一会のご縁を共に拓く未来へ

26日
18:30~

日本では今、才能研究と才能教育が新たな広がりを見せています。
本大会では、研究者・教育実践者・保護者・行政関係者など、多様な立場の参加者が集い、
研究成果や実践を共有しながら、これからの才能研究と教育実践の可能性を考えます。
第1回大会を、新たな出会いと協働、そして日本における才能研究の未来を切り拓く第一歩としたいと願っています。
大会実行委員長：隅田学（愛媛大学教育学部教授）



26日
10:30~

ワークショップ ※事前申込を締め切りました
「『才能』について一緒に研究を始めよう！」

講師：小倉正義 エルッキ・ラッラ ジャクリン・ハードマン



26日
15:15~

シンポジウム
「多様な才能を支える新しい教育のかたち—日本型才能教育へ向けて—」

司会：角谷詩織
演者：隅田学 鈴木秀樹 エルッキ・ラッラ 野口晃菜 知久麻衣・上田志穂
指定討論者：石川裕之 八塚伝 中野広輔



27日
8:30~

研究発表 (口頭発表・ポスター発表)

※オンライン参加の皆様には、
口頭発表のみオンラインからの参加に対応いたします。

終了予定時刻：12PM



対象

才能・才能教育に関心を
お持ちのすべての方

申し込み方法

大会HP、
お申し込みは
QRコードから



主催

日本才能研究学会

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3
愛媛大学教育学部附属才能教育センター内
TEL：089-927-9503 MAIL：contact@js-gifted.org

後援 愛媛県教育委員会/松山市教育委員会





講演・シンポジウム

対面
オンライン

13:00～開会式

13:25～13:55

学会長 講演

「日米才能教育の
歴史的展開の先に」
「特異な才能のある児童生徒」への
指導・支援の施策を見据えて
松村暢隆 関西大学名誉教授

14:00-15:00

特別講演

「俳句という場を 創出した
正岡子規の挫折と才能」

司会：清田朗裕（愛媛大学教育学部准教授）
演者：青木亮人（愛媛大学教育学部教授）

15:15～17:45

シンポジウム

「多様な才能を支える新しい教育のかたち
— 日本型才能教育へ向けて —」

司会：角谷詩織
演者：隅田学 鈴木秀樹 エルッキ・ラッシラ
野口晃菜 知久麻衣・上田志穂
指定討論者：石川裕之 八塚伝 中野広輔

2026年9月27日(日) / E.U.Regional Commons



研究発表・口頭発表

第 1 部 8:30～9:30

1-1

8:30～8:45

発表者：内窪夏希
所属：筑波大学人間総合科学学術院
数学科授業における「数学的な才能」の
探究—数学科教師の語りに注目して—

第 2 部 9:30～10:30

2-1

9:30～9:45

発表者：玉井淳博
所属：愛媛大学教育学部附属小学校
「自分らしく学ぶ」を支える才能教育の
実践と教育課程開発—教育支援の類型化
に基づく実践と「自分探究」—

第 3 部 11:30～12:30

3-1

11:30～11:45

発表者：早藤幸隆
所属：鳴門教育大学
小中学生を対象とする次世代科学者の
才能教育プログラムの実証的評価

1-2

8:45～9:00

発表者：青木瑛佳
所属：東京大学
高能力者が集う学校で自己はどう語られ
るか—中高一貫男子校2校の比較—

2-2

9:45～10:00

発表者：真木大輔¹, 村岡裕紀¹, 新上理哲¹,
村上美樹¹, 向平和²
所属：1. 愛媛大学教育学部附属中学校,
2. 愛媛大学教育学部
特定分野に特異な才能のある生徒を包摂する
授業の実践と考察—学校外の場と大学教員と
の協働から—

3-2

11:45～12:00

発表者：中山貴司¹, 西堀正英², 永田純一¹,
砂原徹¹, 伊藤文香¹, 神垣あかね¹
所属：1. 広島大学未来創造人材教育機構,
2. 広島大学大学院統合生命科学研究科
持続可能な未来社会をけん引する小中高一貫次
世代科学技術人材の育成—広島大学 STELLA プ
ログラムの実践と成果・課題—

1-3

9:00～9:15

発表者：Erkki Lassila¹,
Eeva Kaisa Hyry-Beihammer²
所属：1. 神戸大学,
2. University of Teacher
Education Upper Austria
学習者の多様性と教師の感情—才能教育との
関連—

2-3

10:00～10:15

発表者：五味和高
所属：長野県教育委員会事務局
学びの改革支援課
日本の学びの『新しい当たり前』を信州
から創る—特定分野に特異な才能のある
児童生徒への支援の推進事業—

3-3

12:00～12:15

発表者：安藤晃¹, 伊藤幸博², 渡辺正夫³
所属：1. 東北大学高等大学院機構,
2. 東北大学農学研究科,
3. 東北大学生命科学研究科
東北大学「科学者の卵養成講座」と科学
人材育成

1-4

9:15～9:30

発表者：石川裕之
所属：京都女子大学
韓国における地域特性と才能教育プログ
ラムの運営体制—地方教育行政の役割に
注目して—

2-4

10:15～10:30

発表者：新井しのぶ¹, 吉川あすか²,
隅田学³
所属：1. 中村学園大学,
2. 小郡市立三国小学校, 3. 愛媛大学
公立小学校における才能ある児童への指導・支
援の課題—若手教師による実践事例を通して—

3-4

12:15～12:30

発表者：大島まり¹, 川越至桜¹,
上田史恵¹, 中野多恵¹
所属：1. 東京大学生産技術研究所
探究型STEAM学習の実践と検証
—UTokyoGSC-Nextにおける
東京大学の試み—

時間は目安ですので、多少前後する場合がございます。
第2部と第3部の間にポスター発表者との対話の時間を設けます。
ポスター発表は次ページへ

10:30~11:30

P-1

発表者：篠崎来実¹, 隅田学²
所属：1. 愛媛大学大学院, 2. 愛媛大学
才能のある児童の居場所としてのオンライン特別プログラムの可能性
—「キッズアカデミア・ウィンタースクール2025」に見られた心理社会的成長の事例—

P-2

発表者：篠崎紀華¹, 隅田学²
所属：1. 愛媛大学大学院, 2. 愛媛大学
米国の才能児を対象とした数学教材の特徴とその試行に関する事例研究
—「キッズアカデミア・ウィンタースクール2025」参加児童の記録から—

P-3

発表者：立松大祐¹, 玉井輝之¹
所属：1. 愛媛大学
才能ある生徒を支える教育の現場から
—WKUのSCATS視察報告—

P-4

発表者：知久麻衣¹, 上田志穂¹
所属：日本スクールワイド・
エンリッチメント・モデル協会
SEMの理念に基づく学び場における子どもの変容—才能の伸長と社会情緒面での変化から—

P-5

発表者：関内偉一郎
所属：昭和女子大学現代教育研究所
日本における才能教育的施策の現状と課題—才能児の教育的ニーズへの応答に着目して—

P-6

発表者：是永かな子
所属：高知大学
フィンランドにおけるインクルーシブな学習環境におけるギフテッド教育の提供

P-7

発表者：天野友結
所属：豊島岡女子学園高等学校
エジプトにおけるギフテッド把握制度の批判的考察—日本における才能支援制度構築への示唆—

P-8

発表者：高須みどり
所属：アリゾナ州立大学
成果だけでは見えない生徒の全体像—能力と困難さを捉え直し、支援を考える教員研修—

P-9

発表者：中野広輔
所属：愛媛大学
通級指導担当教員および発達障害児保護者におけるtwice-exceptionalの認識に関する実態調査

P-10

発表者：Sanjita Prasad
所属：Ehime University Centre for Gifted Education and Talent Development
Experiences of Families of Gifted and Twice-Exceptional (2E) Children Seeking Support at EU-GATE

P-11

発表者：Pawilen Antonnette¹, 富田英司¹
所属：1. 愛媛大学
地域レジリエンス学環
地域教育レジリエンスプログラムに向けた社会生態学的レジリエンス要因の検討

P-12

発表者：岡部舞¹, 福本晃造¹, 種田将嗣¹, 成田一人¹, 廣木義久¹, 堀一繁¹
所属：1. 大阪教育大学
科学的才能の発掘と教育プログラム開発を目指す大阪SCOPEプログラムの構想

特P-13

発表者：加藤薫
所属：キッズアカデミア
時差に強いパイロットをめざして
—「えいようマイレージ」と1年間の健康観察—

特P-14

発表者：小立佐和乃
所属：キッズアカデミア
もし重力波望遠鏡KAGRAの技術を月のクレーター永久影に応用できたらどうなるか？

特P-15

発表者：住吉陽光
所属：キッズアカデミア
豆苗の成長に対する水中のミネラルの影響—水の硬度とにがりに着目して—

特P-16

発表者：永易華奈
所属：愛媛大学ジュニアドクター育成塾
瀬戸内海に潜む海洋ゴミの現状と自然に与える影響について2—2050年に魚よりごみが多い海を避けるための第一歩—

特P-17

発表者：佐野隼都
所属：愛媛大学ジュニアドクター育成塾
四季の野菜と野草におけるビタミンC含有量の比較—調理法による変化に着目して—

特P-18

発表者：日開野琳
所属：鳴門教育大学STELLAプログラム
中極性溶媒下における藍の色素合成